



# 能勢高校ニュースレター

第 7 7 号 H. 26. 10 月発行

## 能勢高校文化祭を開催しました。ご来場ありがとうございました！

9月27日（土）秋晴れのもと文化祭を開催し、たくさんの方々にご来場いただきました。地域の方々、小中学校、外部の連携団体、PTAや「能勢高校を応援する会」のご協力により、にぎやかな文化祭となりました。当日、能勢高生は、舞台や展示、模擬店等に大いに活躍しました。

総合学科に改編されて今年で11年になります。文化祭の企画には、4つの系列（人文・理数、国際・情報、人間・環境、食・花・交流）の学びが大きく反映されています。農場での生産活動を通じての地域の人々との触れ合い、町内の福祉施設でのボランティア活動や部活動の発表、留学生や海外の人たちとの国際交流、そして小中学生との連携の成果が、能勢高校の文化祭の様々なシーンで表現されていました。

今年のテーマは、「大阪のてっぺん～地域とつながる文化祭～」でしたが、まさにテーマ通りの文化祭でした。小中高連携企画「能勢の希望の樹」では、各小中学校に画用紙を配り、将来の夢や希望に思いを込めて書いていただきました。

\*ご協力いただいた団体：「オイスカ関西研修センター」、「大阪大学モンゴル今岡教授ゼミ」「豊中市立青少年自然の家 わっぱる」、「ノセボックス」、小中学校、本校PTA、「能勢高校を応援する会」「能勢町献血推進協議会」  
ご協力ありがとうございました。



小中高連携企画「能勢の希望の樹」



全体企画「入場門」



体育館ステージ



モンゴルのゲル（移動住宅）



オープニングの西中吹奏楽部

今年は、本校の総合学習で学んでいるオイスカへの活動支援、モンゴルのマンホールチルドレンやシングルマザーの貧困救済施設「ジェンダーセンター」への活動支援、文化祭特別委員会主催の「すまいるプロジェクト～広島土砂災害への募金～」を行いました。

支援内容は、以下のようになりました。来場者の皆さま、多くのご協力ありがとうございました。

オイスカ（フィリピン植林活動支援）へ11,856円  
モンゴルジェンダーセンターへ3,600円  
広島土砂災害への募金28,009円（現金23,059円、金券4,950円）



模擬店・体育館ステージ・展示



文化祭特別委員会「すまいるプロジェクト」  
～広島土砂災害への募金～



献血

**お知らせ** 能勢高校創立60周年記念式典が開催されます。どうぞお越しください

2014. 11. 29（土） 淨るりシアター

受付 12:30 式典 13:00～13:50 記念行事 14:00～15:30

記念行事：クラブ発表 軽音楽部・ダンス部・空手道部

記念講演：陸前高田市長 戸羽 太氏

## ボランティア活動～河川美化活動～



9月23日(祝) 能勢ライオンズクラブ・能勢町漁業協同組合、能勢町観光協会主催の河川美化活動に、硬式野球部・空手道部・卓球部の部員13名と教員8名が参加しました。

田尻川の地蔵橋から奥田橋のあいだを、上島一彦府議会議員とともに河川の両側に分かれてごみを拾って歩きました。川の中に入りごみを拾った生徒もおり、ゴミ袋が何袋もいっぱいになりました。閉会時に猪汁がふるまわれ、身も心も暖かくなりました。



もおり、ゴミ袋が何袋もいっぱいになりました。閉会時に猪汁がふるまわれ、身も心も暖かくなりました。



ブドウの糖度測定の様子



バスお見送りの様子

## 観光ツアー 大阪のてっぺん能勢町で収穫の秋を体験！ ～ 能勢高校農場部の生徒と過ごす1日～

9月28日(日) 本校農場で、昨年度に引き続き、京都新聞旅行センターとの共催による日帰りの観光ツアーを実施しました。当日は天候にも恵まれて、京都からツアーに参加された24名のお客様たちは、能勢高校生の案内による農場体験で、秋の一日を楽しく過ごされました。

このツアーは、2年連続で「全国高校生観光甲子園 優秀賞」に輝いた「能勢観光プラン」を商品化したもので、昨年度に初めて実施し、今回は2回目の実施となります。お客様に本校農場でしか味わうことのできない農業体験により、秋の一日をゆったりと過ごしていただくことと、高校生たちが企画・準備から当日の運営まで主体的に行うことが、この観光ツアーの実践の最大のコンセプトです。

お客様の中には昨年度の参加者の方も数名おられました。みんなから「また来年も参加したい。」「年に1回と言わずに、複数回実施してほしい。」等の声もいただき、満足度がとても高かったことが伺えました。今回のツアーを通じ、生徒たちは、大きな自信と確かな充実感を得ることができました。また、能勢町の観光施策の推進につながる、大変有意義な取り組みとなりました。

【平日・祝日】 11月27-14

大阪のてっぺん能勢町で収穫の秋を体験！  
**能勢高校農場部の高校生と過ごす1日**

出発日	集合時間	旅行代金(税込)
10月28日	大阪駅(西口) 10:00 能勢大倉(西口) 10:00 能勢中倉(10:00)	おひとり 5,980円

【お弁当とお茶代】  
お茶代 無料  
お弁当 1,000円  
お茶代 17:30～

**お土産**  
現金1,000円、お土産1,000円  
合計2,000円

心算検定合格者(10名)の発表  
心算検定合格者(10名)の発表  
心算検定合格者(10名)の発表

京都新聞の旅行広告



ブドウの収穫の様子

## 短期留学生 ウチラル君(モンゴル)の紹介

モンゴルからウチラル君がAFS秋の短期留学生として来日し、10月7日(月)～10月31日(金)の間、能勢高校に通学していました。短い期間でしたが、1年生のクラスに所属し、楽しい学校生活を送りました。「LHR」の時間に、1年生全員に出身国モンゴルの生活や文化についてプレゼンテーションをし、異文化交流を行いました。10月24日(金)～26日(日)には、岩手県大槌町への震災ボランティアにも参加しました。

日本の大学に留学を希望しており、日本の文化や伝統を知り、多くの日本人の友人を作り、日本語の能力を高めることを目標にした日本への短期留学でした。ホストファミリーとして、倉垣の宮本さんにお世話になりました。



長期留学生のヤオさんとウチラル君

## 留学生受け入れホストファミリー募集中！！

能勢高校では、毎年4月～1月の10ヶ月間の長期留学生と、10月の1ヶ月間の短期留学生を、AFS(文科省公認 留学生交流派遣の公益財団法人)を通じて受け入れています。現在、平成27年度の留学生を受け入れていただけるホストファミリー、および今後の留学生を受け入れていただけるホストファミリー候補への登録をしていただける家庭を募集しています。能勢高校で学ぶ留学生を受け入れて、異文化交流や能勢らしい「おもてなし」を体験してみませんか？

平成27年度留学生滞在期間

- ・長期留学生 平成27年3月末から平成28年1月末まで(約10ヶ月間)
- ・短期留学生 平成27年10月初旬から10月末まで(約1ヶ月間)

問い合わせ先 能勢高校ユネスコ国際交流委員会(内山・臼井・望月)

TEL 072-737-0666 FAX 072-737-1046